

医師

- ・お子様を亡くされたご家庭にこの会の存在を伝える様にしようと思います。
- ・今回のフォーラムで初めて会のことを知りました。北海道で参加できる自助グループのことを知りたいと思っていましたので、今後、機会があれば遺族の方に紹介させて頂きたいと思います。
- ・SIDSの発生率が高い北海道でこのようなオープンフォーラムを定期的に行って欲しい。参加させて頂いて「生の声」が聞けて有意義でした。

看護師

・あまりにもいろいろなことを知り、ショックを受け、何を書いたらよいのかわかりません。当時の方が身を切るような思いやその時の辛さを思い出されながら貴重なお話しをされていらっしゃることに、医療者としてだけではなく一人の人間、女性として考えさせられました。広報活動をしたくてもない湯の内容の重要さよりも一人の著名人（著名な研究者、医者）団体がいるかないかや、エビデンス重視で見向きもされなくなる現状に憤りを感じます。ただ、医療+教育・研究者として少しでも発信（啓発）源となるお手伝いや医療現場の環境改善に貢献できればと思いました。私は成人の内科・外科といった大人の医療現場でしか勤務したことはありませんが、患者様がお亡くなりになられた時、そのお部屋で一緒に過ごしてもらう時間を確保したいという思いと、お見送りをして、部屋の清掃や他の患者様に対応しなければという、時間に追われることのジレンマを感じ病院だけでは亡くなった後、その後に寄り添うことには限界があると感じたことがあります。ひとつひとつのちょっとした何気ない声掛けから気をつけていきたいと思いました。取りとめのないまとまりのない文章で申し訳ありません。貴重な会に参加させて頂く機会をありがとうございます。

・課題もたくさん知れたので、各部の方々に頑張ってくださいたいです。私はNICUに勤めているので、ご家族に伝えていこうと思います。（SIDS予防の普及・家族の会）

・貴重な会を開いていただきありがとうございました。悲痛な思いをかかえてのご遺族の方が体験談をお話し下さいましたこと、申し訳なくも感謝致します。直接、お声を聞くことができたことでグリーフケアについての重要性を理解でき、今後自分自身がどのようなケアを行っていかなければいけないかを考えさせていただくことができました。本当にありがとうございました。

・SIDSに限らず子どもを亡くされたご遺族のグリーフケアにこれが正しいという方法はないのかもしれませんが。私はそうしたご遺族に寄り添うと一言でいっても、その寄り添い方、方法はそのご遺族様々だと感じています。ご遺族との距離、タイミングなど難しさも多々あります。あくまでも医療者目線ではなく、ご遺族の目線でサポートしてあげるではなく、ご遺族の心身の回復力を支えられるような存在でいたいです。また、SIDS予防についても現在は外来勤務であることを活かし普及できるかを考えていけたらと思います。

・1部はかなり違和感がありましたが、有用な学びがありました。ご遺族の皆様のこれからの幸せと消えない悲しみが少しでも癒されますように。在宅ホスピス（末期がん対象）での実践の中にいる私はグリーフ含めて全て学びとなりました。

助産師

- ・このような会を是非、継続して頂きたい。

- ・解説についての見解は勉強になりました。予防のためにも大切なことがわかりました。体験者のお話を聞くのは初めてでした。お辛い体験を勇気をもって話して下さい、深謝いたします。このシンポジウムの意味は社会に広まりますようお願いしています。又、微力ではありますが、お役に立てたらと思います。

- ・ビフレンダーの方々の貴重なお話しが聞けて良かった。流産・死産・病気等で子どもを亡くされた方々と関わることもあり医療者としての関わりを改めて考える機会となりました。

保健師

- ・自分は子育ても近い人が亡くなった経験もまだありません。赤ちゃんを亡くされた方の想いは想像も出来ないものです、でも想像しなければいけないことだと思います。想像できないからこそ、生の声を聞かせて頂く機会が本当にありがたいことだと思います。残念ながら家族の会の周知が浅いことは今、フォーラム出実感しました。今日感じさせて頂いたことを日々の生活で行動に移したいと思います。遺族の方を始め、ご講演して下さいました。皆様ありがとうございました。

- ・とても勉強になりました。家族お話しを聞くことができ医療者として今後の支援に活かせる事が多かったと思います。ありがとうございました。

臨床心理士

- ・心理士としての視点、これまで出会った赤ちゃんやご家族から教えて頂いたことを、今後のグリーフケアに活かしていけるようところで感じ皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。貴重な時間をどうもありがとうございました。

- ・今日の件で恥じ絵て病気、家族の会の存在を知りました。知らないことが医療者として家族を気づつける可能性があることを学べて大変良い機会になりました。

保育士

- ・自分の知識の足りなさを感じました。聞けて良かったです。ありがとうございました。

- ・我が子を失った辛さは本当に想像できませんが、お話しを聞いて、少しではあるかもしれませんが、感じる事ができました。とても貴重な体験となりました。参加させて頂き、ありがとうございました。

- ・体験談は印象に残りました。すごく勇気がいった事でしょう。大変勉強になりました。ありがとうございました。

- ・辛いことを思い出したり大勢の人の前で話すことは本当に勇気のいる行動だと思います。一步踏み出して、話しを聞かせて下さり、本当にありがとうございました。

- ・恥ずかしながら SIDS について詳しく知らなかったのですが、家族の会の存在、予防法など普段学ぶことが出来ないことに触れることができ、とてもいい機会となりました。最後のシンポジウムで実際にお子さんを亡くされた方の話しを聞かせて頂き、結婚もまだ子どもも産んだことのない私が、このような話しを聞き、とても複雑な思いで一杯でした。私自身が未熟で SIDS というものを知らなかったことにより、話しがとても衝撃的でした。

ただただ、聞くことだけで精一杯の自分がとても情けなく思いました。今回を機に自分の周りの友人に SIDS のことを伝えることができたなら、これからの自分に生かせることができたなら、という気持ちでいっぱいです。こんな未熟な私にたくさんのことを教えて頂き又いろいろなことを考える機会を頂き本当にありがとうございました。

・医療関係の話が多く、基調講演は難しかったです。SIDS を知って欲しいという強い思いが伝わってきました。今日初めて知ることが多く、SIDS を知るきっかけとなり私も周囲に伝えていく使命をもらった気がします。体験談を話す勇気は本当に本当に大きなものだったと感じます。そのような中で、大切なお話しをして下さったこと、心より感謝申し上げます。

・今日はありがとうございました。幼稚園の教諭として参加させて頂きました。SIDS の知識も経験もなく大変恥ずかしいのですが普段保育をしている立場として、話しを聞いた中で感じた SIDS を防ぐことは大変であろうと思いました。保育者も人間であるので限界があるのではないかと、現場の先生は一生懸命保育に取り組んでいるのに責められるのはとても辛いことだと思いました。SIDS に限らず保育の現場では子どもの命を預かっていることを一番に考えなければならぬので限界があることもあるけれど諦めずできることは何でもやり、予防出来ることはしていきたいと思いました。

教育関係者

・今日はフォーラムに参加させていただきありがとうございました。体験者の方々のお話しを聞かせて頂き、これまで自分が行っていたケアを振り返る良い機会となりました。流産、死産を経験される妊産婦さんに寄り添う助産師の役割、妊産婦さんのニーズを考えていく必要性を感じることができました。助産師学生へも伝えたいと思います。

・とても大変で貴重な意見を聞くことができました。ここに来る事ができる家族はほんの一部だと思います。もっと苦しんでいる方々も多いと思われるので活動を続けていってほしいと思います。医療者の教育といった意見もでておりました。私も教育の場におりますので、出来る範囲でお手伝い出来たらと思っています。精神科で協力してくれそうな医師、お話しやネットワーク作りも大切だと思います。

・たくさんの人が参加されていて、とても驚きました。生の声が聞けて、医療者としてまた、当事者として勇気を頂きました。

・大変、貴重な機会を作って下さったことに感謝致します。ありがとうございました。基調講演は最新の研究データにもとづいた有益な知識、情報を教えていただき大変勉強になりました。シンポジウムにおける遺族の方のご発表には胸がつまりました。このような例えようのないつらいご経験をお話しされることは、どんなにお辛い事だったことかと思えます。それでもご発表して下さいましたことに感謝いたします。皆様の悲しみが少しでも癒されますことを心より願います。

遺族・一般

- ・突然死の現状及び他遺族の講演がはげみになりました。
- ・医療の現場で働く方々がもっともっと死から学べるという事を感じ、学習するカリキュラムを作って頂きたいと感じました。グリーフケアの重要性を赤ちゃんや大切な人を亡くした時の為に知る時間を何らかの機会を経験し寄り添う人間になりたいと思いました。ホスピスでは遺族会などが行われています。ホスピスを参考に遺族の皆さんの集いを計画されてはいかがでしょうか。
- ・亡くなって10年以上経っても心の傷はあまり変わらないので、ケアの話をもっと入れて欲しい。
- ・家族の会の活動は大変素晴らしいと思いますが、広がりがないと思うのですが、何故でしょうか。もっともっと知って頂けたら救われる人も多いと思います。SIDSがかえって邪魔をしているのかもしれないと思ったりします。保育の立場、SIDSを経験した方の講演は違った立場から興味深かったです。皆様ありがとうございました。
- ・国際的医学の新しい情報が知りたい。看護師、保育士への新しい指導や予防、遺族へのグリーフケアの方法を進めて欲しい。

学生

- ・sids のことについて知りたいともい、参加しました。今まで、疾患名しか知らなかったので菅、今日で少しづつ知ることができたかと思います。この会のミーティングがあることによって、赤ちゃんを亡くされて大きな悲しみの渦の中で苦しむ遺族の方々の心の支えになっていると思いました。
- ・とても勉強になるフォーラムでした。まだ子どもなどのことは考えたことがなかったのですが、このフォーラムを聞いて、いろいろ考えることができました。若いうちは軽い気持ちで子どもが欲しいと考えることが多いと思いますが、このようなフォーラムを聞いて、子どもの育てる難しさ、今まで考えたことのなかった病気をすることは大切なのではないかと思いました。
- ・わかっているけど、実際に体験するまで他人事のように感じてしまう。自分には起こらない特別なことのように感じてしまう人間の負の性によって SIDS 対策の遅れてしまっているような気がしてなりません。
- ・今ちょうど、同様の内容を学んでいるため、とてもためになりました。
- ・北海道科学大学看護学科 准教授の市川先生のお話しをもう少し聴きたいと思いました。SIDSに限った事ではないですが、「予防」に関し、行政機関を巻き込むにはどのように働きかけがあるのだろうかと思います。
- ・この講演、シンポジウムに出席して本当に良かったと思います。最近自然災害によって失われる命がたくさんあって、自分自身にも突然、大切な人を失う日が来ないとはいきれないのだということを感じる日々であります。死というものをどのように受け入れるのか、考えさせられました。遺族の方々の声も聞けたため、その思いを私も受け入れて自分、これから関わる子ども達の大切な命を守っていきたくと思います。
- ・ご家族の方が医療者に何を求めているのかを知ることができました。妊産婦とご家族に寄り添ったケアができるような助産師になりたいです。
- ・私は病気・死などから目をそらして生きていました。悲しみをわざわざ増やしたくないと思っていました。私は19歳で学生ですが、これから友人たちに子どもができたり、保

育者となったときにこういう形でなくても対面することだと思います。遺族の方の言葉を聞いて、私たちは無関係なことではないし、支えるためにどうすればよいか考える良い機会でした。遺族の方で離婚された方がいらっしゃいました。私は当事者ではないから分からないですが、傷ついた奥さんを見捨てるなんて男として最低だと思ってしまいました。田上さんの話を聞いて男性側の心の傷を軽く考えていたと自覚し恥ずかしいと思いました。長々とごめんなさい。16年前、20年前にお子さんを亡くされた方のお話を聞いて生きていれば私たちくらいだったはずで、色々学び遊んできた19年の人生がとても貴重なものなんだと考えました。また、こんなに長い時を経ても子を失う悲しみは忘れることはできなく、忘れたくないものだと知ることができました。私は悲しいことはすぐに忘れてしまおうとしています。親はきっと違うんですね。

・医療者側の立場で、ご家族の方々を支えなければ、と思っていた面があるのですが、医療者からも悲しみを伝えてもいいのだというお話を聞いて、こちらにも救われた気がします。大学や専門学校など、学校でも家族の会からお話しを聞く機会があればより多くの学生が現状を知ることができるのでは、と思います。今日は貴重なお話しをありがとうございました。

・医療系の話しは殆ど話しがわからなかったのですが保育の側からのお話しもあり、大変学びとなりました。体験者様のお話しはもしかしたら自分の身にも・・・と想像を絶するものだと思います。ご遺族の方がこの場に立ってくれお話しをしてくれたことを本当に有難く思っています。

・グリーフケアをしている専門職（MSW,CLS等）の実際のケアについても知りたいと思いました。保育者としてどのように予防や事後のケアが必要かこれから学んでいきたいと思っています。ありがとうございました。

・たくさんの知識も得られてよかった。遺族の話も聞き、医療者としてどのようなケアをしていくか考えるきっかけになって良かったと思います。ありがとうございました。